



四 気 折 々

川越町立川越中学校
学校だより 最終号
令和2年3月25日

四気＝川越中校訓「やる気 ほん気 こん気 げん気」

ありがとうございました

本日3月25日（水）の修了式をもって、令和元年度（平成31年度）の最終日を迎えることとなりました。突然の感染症対策による全国一斉臨時休校が要請された学年末となりましたが、16日（月）に有終の美を飾った卒業生をはじめ、1，2年生のみなさんも大きく成長することができたと確信しています。教職員一同、川中生とともに創造する3月を失ったことに戸惑いを隠すことはできませんが、令和2年度に引き続くであろうこの逆境を、みんなで力を合わせ乗り越えていきましょう。この1年間のみなさんの成長をしっかり振り返り、本日を充実感・達成感に満たされた日にしましょう。

さて、在校生は卒業生から引き継いだ伝統を、令和2年度はさらに重厚なものにしてくれると確信しています。令和2年度も凡事徹底に励み、有終の美を飾ることができるようにしましょう。私が卒業式で卒業生に贈ったはなむけの言葉を下段に掲載します。在校生のみなさんも、努力し続ける中で、失敗や挫折を繰り返すことはあるでしょうが、はなむけの言葉を思い出し、クラスメートや生徒会の力で乗り越えていきましょう。令和2年度をスムーズに迎えらるるよう、明日から始まる春休みの11日間を計画的に過ごし、新年度の準備期間としての有意義な日々にしてほしいと思います。保護者の皆様には臨時休校期間に引き続き、春休み中、ご家庭でお子様を見守っていただくとともに、けがや病気、事故に十分お気を付けていただき、4月6日（月）の新年度始業式には、元気な姿でご家庭から送り出していただきますようよろしくお願いいたします。

この1年間、この臨時休校期間中を含め、本日まで大過なく学校生活を送ることができましたのも、保護者の皆様をはじめ、地域の方々のご理解とご協力によるものであることを認識するとともに、感謝申し上げます。本当に1年間お世話になりました。新年度も、今まで以上に本校の教育活動にご支援・ご協力賜りますことをお願いいたします。

【卒業生へのはなむけの言葉】

元大リーガーのイチロー選手が引退会見で述べた二つの回答を引用し、お伝えした「卒業生へのはなむけの言葉」です。

「現在の自分に合わせて、未来の自分を決めるのではなく、未来の自分をクリエイトして、現在の自分をいかに成長・変化させるかにポイントを置くことが重要である」ということです。自分自身の夢に向かって、人と比べることなく、また、臆することなく、自分なりの頑張りを継続し、自身を成長させ、変化させていってください。

みなさんが「令和」という時代に踏み出すことは、予測不能な未来を生きる上での挑戦となります。また、イチロー選手が日頃から大切にしていた「感謝すること」「凡事徹底すること」「チャレンジすること」をみなさんも意識して、大人への階段を着実に昇り、「未来の自分」をクリエイトしてください。